

**B バサグランS粒剤
(SMX粒剤)**

(1) 対象雑草名：ノビエ，マツバイ他1年生雑草，ホタルイ，ヘラオモダカ，ミズガヤツリ

(2) 有効成分：シメトリン1.5% MCP-B 1.0% ペンタゾン7.0%

(3) 毒性：魚毒性B類

(4) 特性

シメトリン，MCP-Bは1年生雑草およびマツバイに強い殺草力をもち，ペンタゾンはホタルイ，ヘラオモダカ，ミズガヤツリ，ウリカワなどの多年生雑草に高い除草効果を示す。これら成分の相加作用があるため適用草種幅の広い除草剤である。成分の一つであるペンタゾンは水溶性，土壌中の移動性が大きく水と共に移動しやすい。

(5) 使用基準

薬剤名	使用時期	使用量	適用草種	適用土壌	適用土壌
SMX粒剤	稚苗移植後 20~25日 成苗移植後 15~20日	3Kg/10a	ノビエ，マツバイ，その他1年生雑草，ホタルイ，ヘラオモダカ，ミズガヤツリ等多年生雑草 (ノビエ2葉，ホタルイ3葉 ヘラオモダカ4葉，ミズガヤツリ4葉まで)	壤土~ 埴土 減水深 2mm/日以下	県下全域

(6) 普及上の留意点

初期除草剤との体系で使用し，ノビエ2葉期までに湛水のまま散布し，散布後2~3日は湛水に保ち，できるだけ水を移動させないこと。早期散布（水稻5葉以前）の場合，散布後異常高温（30℃以上）や16℃以下の低温が予想される場合は薬害の危険があるので使用をさけること。砂質土の水田・漏水田では使用しないこと。

(7) 主要成果の具体的データ

場所	栽培法	年次	試験別			除草効果(無除草比)			薬害	水稻調査		
			除草剤名	時期	量	1年生	多年生	合計		出穂期	当穂数	収量指数
県南分場	稚	50	X-52 SMX	+3~+15	300~300	t	1	t	ロ-薬ビ	8.9	382	109
			"	+3~+20	"	1	4	1	"	"	398	112
			"	+3~+25	"	1	6	1	"	"	396	110
			X-52 B-3015・S	+3~+20	"	t	3	t	△	"	442	110
	50	X-52 SMX(Na)	+3~+15	300~300	t	1	t	ロ-薬ビ	8.9	398	111	
		"	+3~+20	"	t	6	1	"	"	447	109	
		"	+3~+25	"	t	2	t	"	"	426	109	
		X-52 B-3015・S	+3~+20	"	t	3	t	△	"	442	110	
	51	X-52 SMX(Na)	+3~+20	300~300	1	15	2	ロ-薬ビ	8.13	462	108	
		"	+3~+25	300~300	t	1	1	"	"	471	111	
		"	+3~+25	300~400	t	t	t	"	"	483	114	
		X-52 B-3015・S	+3~+20	300~300	t	12	1	△	"	480	108	

展示ほにおける成績

年次	展示場所	栽培法	初期除草剤			中期除草剤			薬害	総合判定	備考
			薬剤名	時期	量	薬剤名	時期	量			
52	盛岡	中		-2	300		+20	300	無	A	
	千厩	中	X-52	-3	"	SMX	+21	"	"	A	
	釜石	中		-4	"		+21	"	"	A	
53	盛岡	中		+7	300		+24	300	無	A	
	水沢	稚	フタクロール	+4	"	SMX	+20	"	"	A	
	釜石	中		+2	"		+19	"	"	A	

C 除草剤の混用による水田の離層防止法

(1) 背景

機械移植の普及により、代かきから移植までの湛水日数が長びき離層の発生が早まり目立って来ている。

離層が発生した場合、初期の除草剤の効果、持続期間の判定がむずかしく、場合によっては稲を物理的に倒すなどの問題点がみられることからその防止対策をモグトン粒剤(ACN)を用いて検討した。

(2) 対象：水田離層